

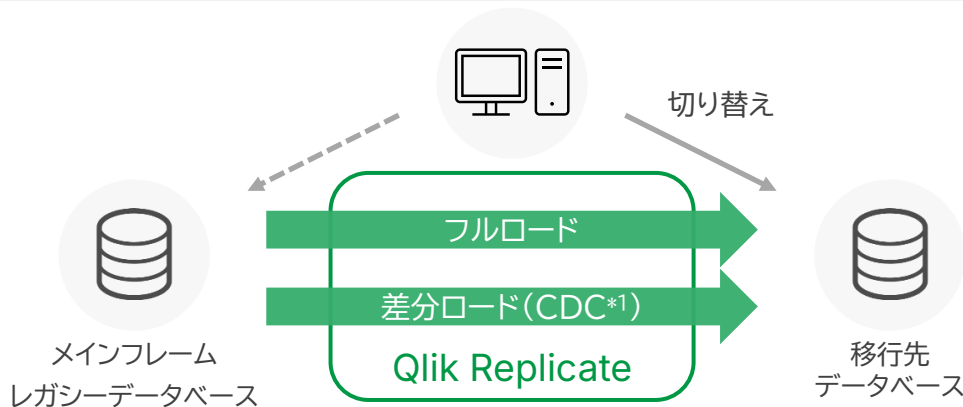
メインフレーム／レガシーデータベースからの データ移行やリアルタイムデータ連携を簡単・迅速に実現

～Qlik Replicateによる直感的なGUIベースの設定でノーコードで開発・運用できます～

メインフレームやレガシーデータベースからのデータ移行やデータ連携では、ソースシステムへの負荷や異なるデータベース間の互換性など、さまざまな課題があります。Qlikを活用することで、ソースシステムへの影響を抑えながら、データ品質を維持し、高速かつ安全なデータ移行やデータ連携を簡単・迅速に実現できます。

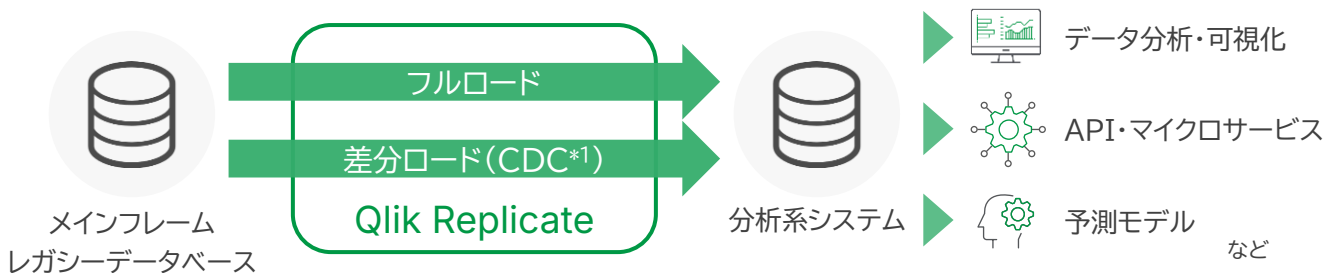
■ ユースケース

○ メインフレーム／レガシーデータベースからのデータ移行



- ✓ システム切替時の**停止時間を最小化**し、安全かつ迅速なデータ移行を実現
- ✓ 直感的な**GUIベースのインターフェース**でノーコードで開発・運用可能
- ✓ 異なるデータベース間の差異を吸収し**移行先のテーブルを自動で生成**

○ メインフレーム／レガシーデータベースから分析系システムへのリアルタイムデータ連携



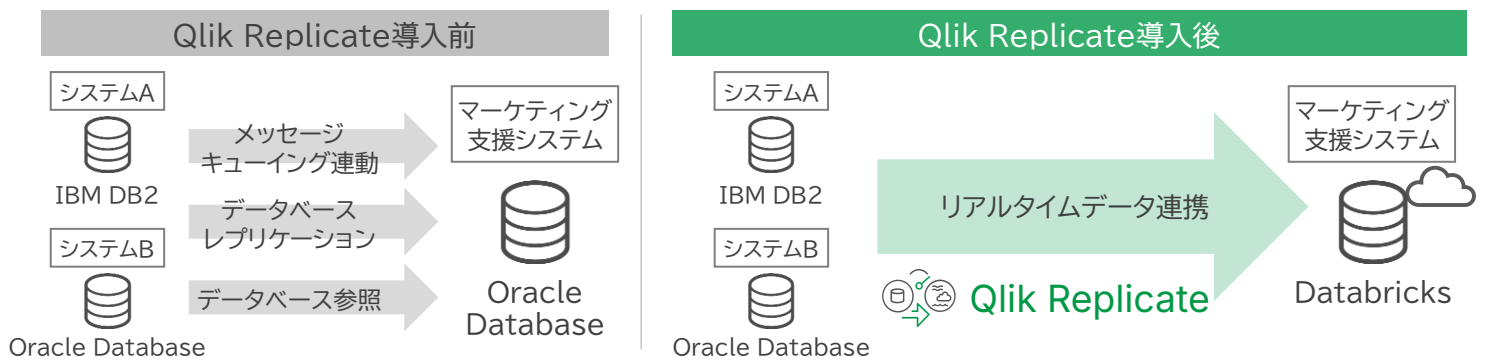
- ✓ CDC*1により異なるデータベース間での**リアルタイムなデータ連携**を実現
- ✓ 複数データベースのデータをリアルタイムに集約して**最新データに基づく分析**を実現
- ✓ エージェントレス*2かつソース側のデータベースへのアクセスが発生しないため、**負荷を最小限**に抑えることが可能

*1 変更データキャプチャ(CDC)とは、データベースのトランザクションログや変更履歴を監視し、変更があったレコードだけを抽出してターゲットに転送する仕組みです。

*2 一部のデータベースではエージェントが必要となるケースがあります。

■ Qlik Replicate リアルタイムデータ連携事例

金融業: マーケティング支援システム



課題

- 複数のデータ連携方式があり管理が煩雑
- バッチ処理連携のためデータ鮮度が低い
- 既存システムのリソース負荷がかかる
- 連携元と連携先のデータベース間に互換性がなく変換処理の開発が必要

導入効果

- データは自動で連携 全データが分析に利用可能
- リアルタイムデータを活用した販売戦略立案が可能
- 既存システムのデータベース参照が減少しシステム負荷低減
- データ型・文字コードなどのデータベース間の差異を自動変換

■ Qlik Replicateがサポートするデータソース(連携元)

IBM DB2 for iSeries、IBM DB2 for LUW、IBM DB2 for z/OS、IBM Informix、Microsoft SQL Server、MySQL、Oracle、PostgreSQL、SAP Sybase ASE、SAP HANA

■ 支援内容



PoC支援

- PoCの計画策定から評価支援
- PoC環境の準備支援



環境構築支援

- データ移行・連携基盤の環境設計および環境構築支援



データ移行・連携支援

- データ移行・連携アプリケーション設定支援
- データ移行・連携全般に関する技術支援

データ利活用分野の豊富な経験と高い技術力により支援します

日立ソリューションズ は Qlik の販売パートナーです

Qlik



日立ソリューションズ



※Qlikは、QlikTech International ABの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 ※その他、本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報
<https://www.hitachi-solutions.co.jp/qlik/>

